

ゼロカーボン長野プログラム 2022

取組に至る背景・事業の目的

環境保全や都市緑化に取り組むボランティアや市民団体が行政機関と協働しながら普及啓発活動を実践してきた。2050 ゼロカーボンを実践していくため、関連する市民団体等はもとより、さらにより幅広い市民、団体・企業へと知名度を高め浸透を図っていくため実施する。

事業内容

ゼロカーボン社会の構築及び地球温暖化防止活動の普及啓発活動のため、5つのプログラムを実施。

1. グリーンインフラ体験活動 (6/16～8/10 の56日間)
長野駅善光寺口駅前広場で緑化スペースを設置
2. リサイクルラボ (7/16～7/18 の3日間)
リサイクルによるゼロカーボンのワークショップ
3. ゼロカーボンさみっと 2022 (7/29～7/31 の3日間)
ゼロカーボンの体験、展示等の普及啓発イベント
4. グリーンインフラフォーラム
・オンラインシンポジウムの開催とWebでの配信
・5会場でのパネル展
5. エコマラソン長野 2022 (9/17～9/18 の2日間)



【グリーンインフラ体験コーナーの様子】

事業効果

- ①善光寺御開帳から盛夏までの間、長野駅前広場で緑化スペースを提供することで、駅利用者、来訪者にグリーンインフラを知ってもらう機会となった。芝生にすることで表面温度が12℃下がる効果が実証できた。
- ②親子参加でのワークショップを通じて、楽しみながらゼロカーボンへの理解を深める機会となった。クイズなどを取り入れ、幅広い年齢層への浸透を図ることができた。
- ③小学生・中学生とご家族など幅広い年齢層への普及啓発活動ができた。ライブ配信・収録配信を取り入れたWebの活用で事業効果を増大できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

ゼロカーボン社会の構築および地球温暖化防止活動の普及啓発のため、都市緑化、リサイクル、省エネ・再エネのテーマごとプログラムを実施することができた。オンライン配信なども積極的に活用し波及効果を高めた。引き続きこのプログラムの内容を充実させることで、ゼロカーボン社会に向けた普及啓発活動の発展が期待できる。

また、所期の目的であった行政機関や関係団体、企業、市民有志などさまざまな主体との連携の機会が継続的に実現できたことから、今後もこうしたネットワークのプラットフォーム機能を継続、拡大していきたい。

【選定のポイント】

長野駅前広場での「グリーンインフラ体験」や、子ども向けのリサイクルラボ、知見者がディスカッションするシンポジウムの開催まで、幅広い世代やレベルに対して広く普及を行い、長野市内におけるゼロカーボンの取組の普及に大きく寄与した。また、グリーンインフラ体験コーナーでは、長野市・長野高専と連携して、芝生の効果を検証し、芝生が石畳より約12℃低く、緑化で温暖化防止につながることを実証し、今後も更なる取組により一層ゼロカーボンの普及を推進することが期待できる事業となった。

団体名	特定非営利活動法人CO2バンク推進機構	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	理事長 宮入 賢一郎	事業費	4,875,805円
ホームページ		支援金額	3,900,000円
	https://www.co2bank.org/pr-zero/zerocarbon.htm		
メールアドレス	co2bank@nifty.com		